

令和3年度 消費者庁
消費者保護のための啓発用デジタル教材を活用した調査実証事業
実証中間報告書

令和4年2月7日

目次

1 事業目的・事業概要		
1-1 事業目的	p.3
1-2 事業概要	p.4
2 高校生向け実証について		
2-1 実証検証の目的と概要	p.6
2-2 実証検証内容	p.7
2-3 実証概要	p.8
2-4 視察授業	p.9
2-5 遠隔（オンライン）授業	p.15
2-6 通常授業	p.21
2-7 ヘルプデスク サポート対応	p.22
3 分科会 成年向け実証について		
3-1 分科会 成年向け実証について	p.24
4 実証検証報告		
4-1 アンケート	p.27
4-2 現地調査レポート	p.29
4-3 ヒアリング・座談会	p.30
4-4 実証検証スケジュール	p.32
5 コンテンツ制作状況		
5-1 教材の改修予定について	p.34
6 全体スケジュール		
全体スケジュール	p.37



事業目的・事業概要

1-1 事業目的

新型コロナウイルス感染症の拡大や、新しい生活様式への移行に伴い、消費のデジタル化が加速しています。その一方で、急速な変化に伴う消費者の脆弱性につけてこんだ消費者トラブルの防止が課題となっています。消費者におけるデジタル化への対応を早急に促すべく、幅広い年齢層の消費者に適した学習教材が必要とされています。また、タブレットやスマートフォンが普及し、インターネットが社会インフラの一部となり、教材の可搬性、教材へのアクセシビリティ、教材の変更容易性などを加味し、より学習しやすい教材として、デジタル教材を提供する必要性が増えています。そこで、**消費者トラブル防止の啓発用デジタル教材を制作し、制作物の内容検証、及び当該教材を活用した効果的な啓発手法の構築を目的とし、本実証を行います。**

■背景

- (1) 成年年齢18歳への引き下げによる消費者トラブル
- (2) 人生100年時代を意識した成年のお金に関するトラブル
- (3) 新型コロナウイルス感染症の拡大によるインターネット通販利用拡大
- (4) タブレットやスマートフォンが世代を問わず普及し、インターネットが社会インフラの一部



1-2 事業概要

本事業「消費者保護のための啓発用デジタル教材を活用した調査実証事業」では、「（1）実証事業のための啓発用デジタル教材等の制作」、「（2）啓発用デジタル教材に係る実証事業の実施」の2つの事業を中心に実施します。

（1）実証事業のための啓発用デジタル教材等の制作

実証事業の中で活用する動画コンテンツ、授業用教材、その他デジタルコンテンツ及びWebポータルサイトを制作します。教材は、高等学校の授業及び成年向け研修での活用、及びCATV配信・Web配信によって一般消費者の利用に提供することを前提としております。

（2）啓発用デジタル教材に係る実証事業の実施

消費者の世代に合わせて制作された実証事業のための啓発用デジタル教材等の内容検証、及び当該教材を活用した効果的な啓発手法の構築を目的として、①高等学校における試験授業、②成年消費者向け研修、及び③一般消費者向け情報配信を内容とする実証事業を行います。また、実施にあたり「実証に関する有識者委員会の設置・運営」をし、本事業を効果的・効率的なものとします。

（1）実証事業のための啓発用デジタル教材等の制作

シナリオ作成

- ・ 全体コンセプト
- ・ 高校生向けシナリオ
- ・ 成年向けテーマ

デジタル教材制作

- ・ 高校生向け教材
- ・ 成年向け教材



（2）啓発用デジタル教材に係る実証事業の実施

啓発用デジタル教材の実証

高等学校における実証授業

成年消費者向け研修

一般消費者向け情報配信

プラッシュアップ

アンケート結果整理

有識者会議での報告・検証作業

消費者庁への報告

コンテンツ修正

デジタル社会の
消 費 生 活

Think your Life & Money

高校生向け実証について

2-1. 実証検証の目的と概要

■目的

制作した啓発用デジタル教材について、以下を目的として実証検証を実施する。

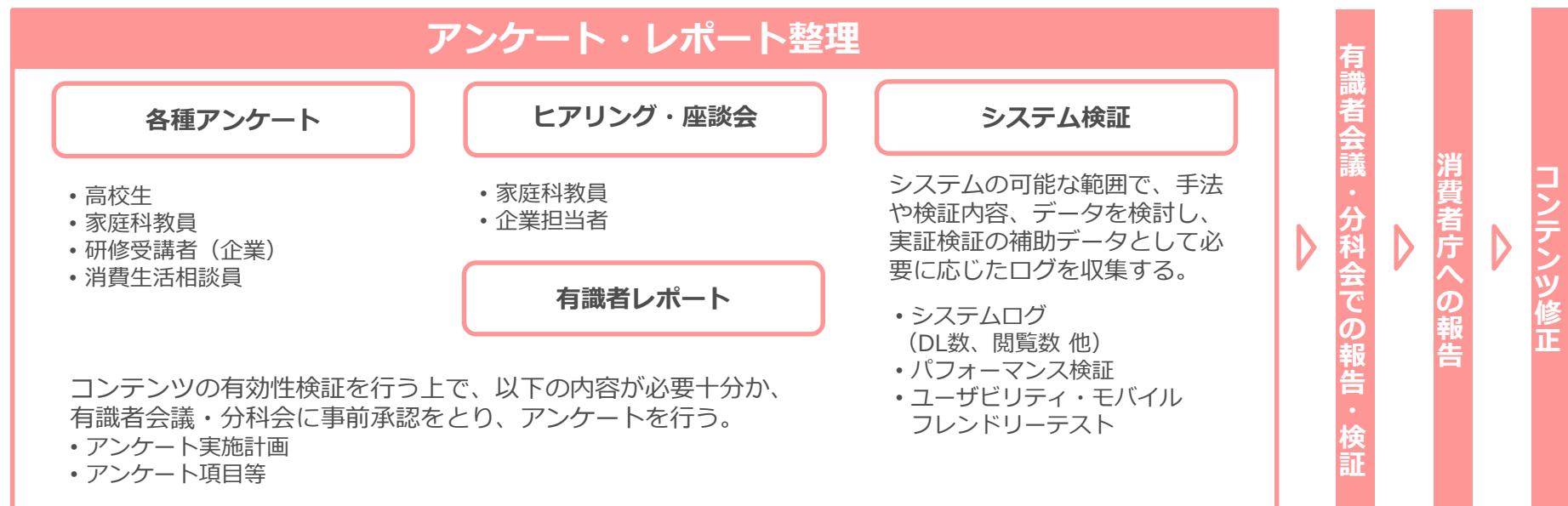
- ◆ 各世代に向けた効果的な消費者教育教材となっているかの検証 【内容検証】
- ◆ 当該教材を活用した効果的な啓発手法の検証 【啓発手法の検証】
- ◆ 利用者からのフィードバック及び制作したデジタル教材のブラッシュアップ 【教材のブラッシュアップ】

■概要

以下の手法を用いて、本実証検証を実施する。

- ◆ 知識理解度の変容を把握するためのアンケート
- ◆ コンテンツに対する意見を集約するためのヒアリング・座談会
- ◆ 実証授業についての現地調査レポート
- ◆ システムログ等の整理

<実証検証の流れ>



2-2. 実証検証内容

■実証検証

以下の表の通りアンケート・ヒアリング・座談会・レポートによる実証検証を実施予定。

実証種別	対象	目的	手法
高等学校	高校生	知識理解度の変容を把握（効果的な内容であったか） ・知識理解度 ・ユーザビリティ	アンケート (Microsoft Forms)
	教員	コンテンツに対する意見を集約 ・ユーザビリティ ・使い勝手の良さ（授業の組み立てやすさ）	ヒアリング・座談会
	有識者	実証授業についての評価 ・授業の様子で気になったこと・意見等 ・事務局による客観観察（生徒のレスポンスや操作状況、つまずきポイント等）含む	現地調査レポート
成年消費者向け	受講者	知識理解度の変容を把握（効果的な内容であったか） ・知識理解度 ・ユーザビリティ	アンケート (Microsoft Forms)
	企業担当者	コンテンツに対する意見を集約 ・ユーザビリティ	ヒアリング
一般消費者向け	消費生活相談員 一般視聴者（任意）	・啓発手法の評価 ・CATVの配信におけるコンテンツ内容が適切であったか	視聴後アンケート (メール・QRコード)

- ◆ 生徒への事前・事後アンケートの手法は、Microsoft Formsを採用
- ◆ ヒアリングは、新型コロナウイルス感染症拡大を鑑み、オンライン会議で実施
- ◆ 現地調査レポートは、有識者が現地に赴いて実証授業を視察し、レポートを作成

2-3. 実証概要

実証授業対象高校

実証高校	所在地	生徒数
城東高校	徳島県徳島市中徳島町1-5	829名（2021年5月時点） 男子393名 女子436名
阿南光高校	徳島県阿南市宝田町今市中新開10-6	508名（2020年4月時点） 男子393名 女子115名

実証内容

- 有識者会議にて作成された、家庭基礎指導計画モデルに沿って実証授業実施

対象授業	城東高校	阿南光高校
視察授業 ※有識者委員が現地で視察	日時：11月18日(木) 11:30～12:20 対象教材：3時限目教材 対象クラス：1年7組（40名クラス）	日時：12月3日（金）12:00～12:50 対象教材：2時限目教材 対象クラス：1年4組（25名クラス）
遠隔（オンライン）授業 ※オンラインで授業を実施	日時：12月16日（木）11:30～12:20 対象教材：5時限目教材 対象クラス：1年7組（40名クラス）	日時：12月21日（火）11:00～11:50 対象教材：1時限目教材 対象クラス：2年生 6クラス 171名
通常授業	期間：11月～1月 対象教材：3時限目教材 対象クラス：1年生 7クラス 280名	期間：11月～2月 ※実施中 対象教材：1～5時限目教材 対象クラス：1年生 74名、2年生 89名

2-4. 観察授業

城東高校

■ 3時限目 テーマ：支払いと信用取引

学習の狙い：様々な支払いの方法の特徴と仕組みを理解しよう

授業内容：●様々な支払い方法

- 支払いのタイミングと信用取引
- クレジットカード
- キャッシュレス決済の仕組み
- 決済の注意点

【日時】 令和3年11月18日（木）11:30～12:20

【実施校】 城東高校（1年7組）

【担当教員】 山本先生（有識者会議委員）

【観察授業にご参加いただいた委員】

坂本座長、阪東委員、阿部委員、斎藤委員、坪田委員



- ・ 観察授業当日は、以下4つの観点で、委員の皆様に観察レポートを記載いただいた
 - ・ デジタル教材を利用する教員の様子について（例：時間配分、説明のしやすさ、等）
 - ・ デジタル教材を利用する生徒の様子について（例：生徒の理解の様子、操作、等）
 - ・ デジタル教材そのものについて（例：表示の大きさ、操作、音声、等）
 - ・ その他、お気付きになった点について
- ・ 観察授業後には、観察授業の担当教員及びご参加いただいた委員にて座談会を実施した
- ・ 観察レポート、アンケート及び座談会でいただいた意見については以降実証検証の項目で別途記載している

2-4. 観察授業

城東高校

3 時限目の授業の流れ

導入

①学習目標確認

【課題】 理解

『様々な支払いの方法の特徴と仕組みを理解しよう』

展開

②自分や身近な人が使っている支払い方法を確認しよう

自分や身近な人が使っている支払い方法を確認しよう 体験 理解

<学習目標>

- ・様々な支払い方法の特徴と仕組みを理解する。

<学習方法>

パワーポイントスライド13_学習目標_支払い方法の特徴と仕組みを理解しよう

<学習目的>

- ・どんな決済手段が身の回りにあるのかを把握する。

<学習方法>

ワークシート03_確認しよう！自分や身近な人が使っている支払い方法

- ・身近なものを事例（スマホ、サブスク音楽、洋服など）にそれぞれ、どのような決済方法で購入可能かを書き出す。

③キャッシュレス決済の仕組みを理解しよう。

キャッシュレス決済の仕組み 理解

キャッシュレス決済の仕組みとは 理解

<学習目的>

- ・様々な決済方法を確認し、キャッシュレス決済の仕組みを理解する。

<学習方法>

動画06-2_キャッシュレス決済の種類と仕組みを理解しよう

- ・様々なキャッシュレス決済を紹介し、多様な支払い方法を理解する。
- ・動画でカードとスマートフォンのキャッシュレス決済の支払い方法や仕組みを解説

④支払いタイミングと信用取引を学ぼう。

支払いタイミングと信用取引 理解

<学習目的>

- ・信用取引の支払い方法と特徴を学ぶ。

<学習方法>

動画06-1_クレジットカードの特徴と注意点とは？

- ・決済によって異なる支払いタイミング（前払い・即時払い・後払い）を学ぶ。
- ・クレジットカード払い（リボ、分割、一括払い）それぞれの特徴を学ぶ。

⑤自分が使う決済手段の仕組みと注意点を説明しよう

自分が使う決済手段の仕組みと注意点を説明しよう 体験 理解

<学習目的>

- ・キャッシュレス決済の仕組みを理解する。

- ・適切な使用方法を学ぶ

<学習方法>

ワークシート04_説明しよう！決済手段の注意点

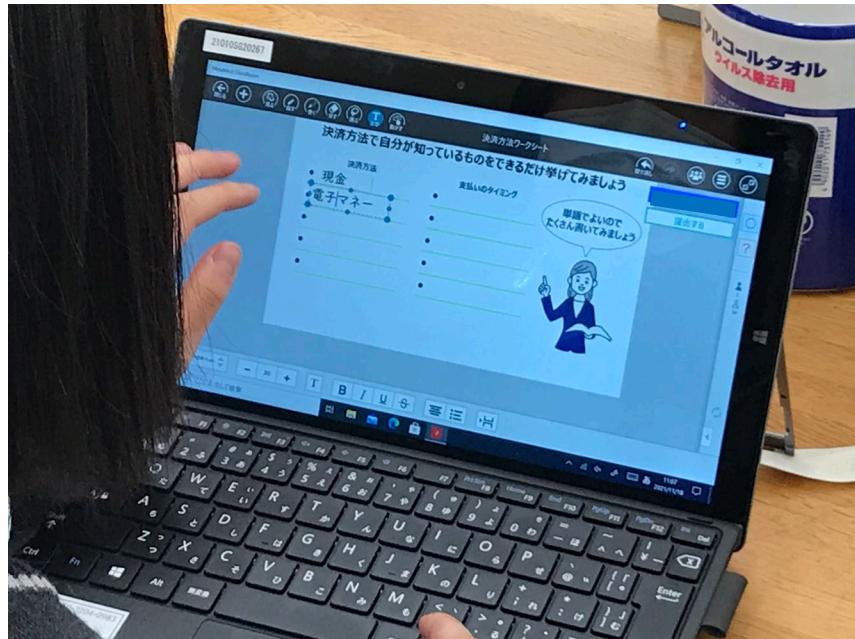
- ・キャッシュレス決済の仕組みを図解で説明。
- ・利用のしそうを防止するために、どのような点を注意すべきか、まとめ、発表する。

まとめ

2-4. 観察授業

城東高校

観察授業の様子



タブレットにて「自分が知っている決済方法」
を入力をする生徒



参考資料としてご自身のクレジット明細で
説明している山本先生

2-4. 観察授業

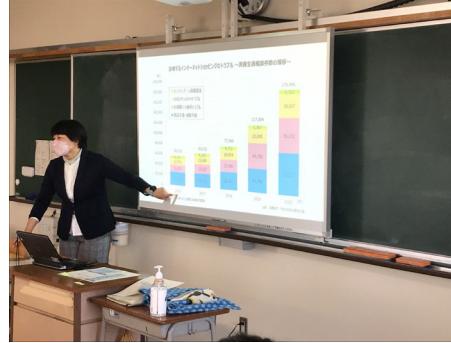
阿南光高校

■ 2 時限目 テーマ：購入と契約

学習の狙い：デジタル時代の様々な購入の方法とルールを理解する

授業内容：●契約の基礎知識

- 契約はやめられるの？
- 電子商取引の契約とは
- デジタル取引体験
- ネット取引でトラブルを防ぐ注意点



【日時】 令和3年12月3日（金）12:00～12:50

【実施校】 阿南光高校（1年4組）

【担当教員】 西村先生（有識者会議委員）

【観察授業にご参加いただいた委員】

坂本座長、阪東委員

以下、城東高校での観察授業と同様。

- 観察授業当日は、以下の観点で、委員の皆様に観察レポートを記載いただいた
 - デジタル教材を利用する教員の様子について（例：時間配分、説明のしやすさ、等）
 - デジタル教材を利用する生徒の様子について（例：生徒の理解の様子、操作、等）
 - デジタル教材そのものについて（例：表示の大きさ、操作、音声、等）
 - その他、お気付きになった点について
- 観察授業後には、観察授業の担当教員及びご参加いただいた委員にて座談会を実施した
- 観察レポート、アンケート及び座談会でいただいた意見については以降実証検証の項目で別途記載している

2-4. 観察授業

阿南光高校

2時限目の授業の流れ

導入

①学習目標確認

【課題】 気づき
『デジタル時代の様々な購入の方法とルールを理解しよう』

<学習目標>

- ・電子商取引を中心に、契約の成立や、契約前に確認すべき点（取引相手の信頼性、返品・交換の条件、禁止行為）を理解し、トラブルを防止できるようにする。
- ・特にデジタル取引は、対面よりも一層注意しなければならない点が多いことを確認する。

<学習方法>

PPT12_学習目標_デジタル時代の購入方法とルールを理解しよう

展開

②返品が可能かどうかを考えよう

返品が可能かどうかを考えよう 体験

<学習目的>

- ・電子商取引で、意図しないものを購入してしまった場合の、返品が可能かを学習し、対面取引よりもトラブルの可能性が高いことを学習する。

<学習方法>

ワークシート02_返品可能か考えよう！ルール上、契約はやめられる？

- ・電子商取引の取引形態毎に、偽物や説明と違う商品、定期購入、イメージと違うものなどが届いた場合等に返品が可能かを考える。

③返品可否の条件とは？

契約の基礎を確認する。

契約の基礎を確認 理解

<学習目的>

- ・売買契約の基礎を学ぶ。

<学習方法>

PPT03_契約の基礎を確認～なぜ返品できたり、できなかったりするの？～

- ・契約自由の原則、契約成立タイミング、成立後の権利と義務などを振り返る。

④電子商取引での契約とは？

電子商取引での契約とは？ 理解

『デジタル取引』体験 体験

<学習目的>

- ・電子商取引特有の取り決めについて学習する。

<学習方法>

動画01_電子商取引の契約とは

- ・電子取引での契約成立のタイミングなどを、ワンクリック詐欺などを事例に学習する。

アプリ03_デジタル取引を体験しよう

- ・電子商取引の取引画面をシミュレーション体験し、契約成立タイミングを理解する。

⑤取引でのトラブルを防ぐための注意点をまとめよう

取引でのトラブルを防ぐための注意点 体験 理解

<学習目的>

- ・電子商取引でのトラブルを防ぐための注意事項を知る。

<学習方法>

ワークシート09_まとめよう！ネット取引トラブルを防ぐための注意点

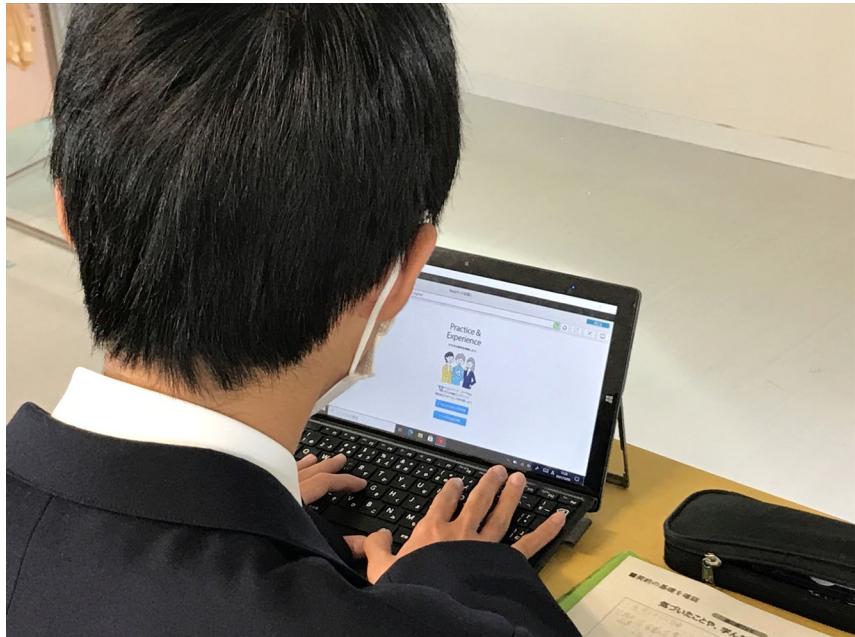
- ・グループ毎にテーマを設定し、調べ学習を行う。
- ・テーマは「取引相手の信頼性の判断」「返品・交換条件の確認方法」「CtoC取引の禁止行為」等

まとめ

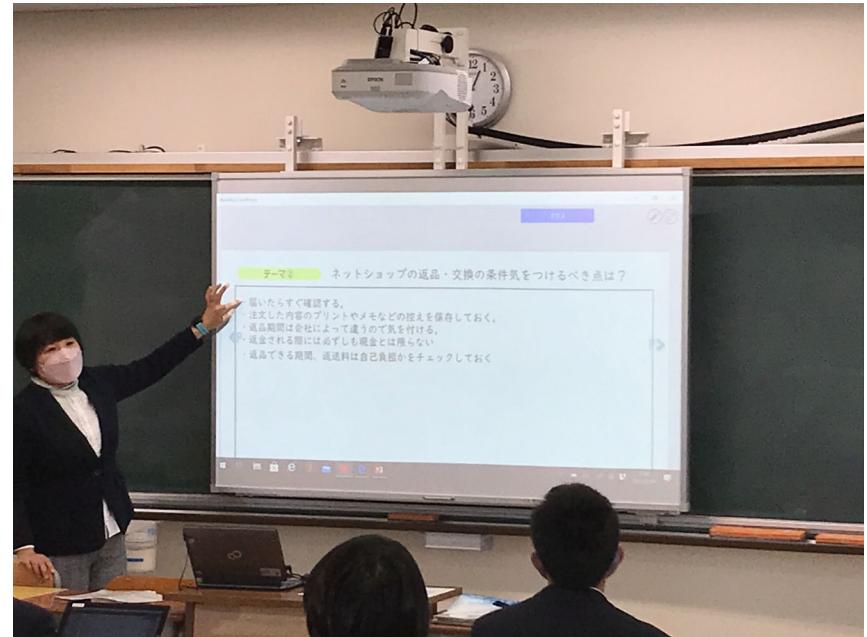
2-4. 観察授業

阿南光高校

観察授業の様子



タブレットにてアプリ「デジタル取引体験」を
実施する生徒



「ネット取引トラブルを防ぐための注意点」の
各テーマについて班ごとに作成したシートを
紹介する西村先生

2-5. 遠隔（オンライン）授業

城東高校

■ 5 時限目 テーマ：生涯を見越した経済の管理

学習の狙い：限りあるお金を、人生で最大限に有効活用する方法を考える

授業内容：●収入と支出

- 家計の管理方法
- 生活設計・マネープランシート
- 保険の役割
- ローンの仕組み・メリット・デメリット

【日時】 令和3年12月16日（木）11:30～12:20

【実施校】 城東高校（1年7組）

【担当講師】 坂本先生



有識者会議の座長である坂本先生に授業講師を依頼。

実証対象となる高校の教室と、坂本先生の研究室をオンラインで繋ぎ遠隔授業を実施した。

- アンケート及びヒアリングでいただいた意見については以降実証検証の項目で別途記載している

2-5. 遠隔（オンライン）授業

城東高校

5 時限目の授業の流れ

導入

①学習目標確認

【課題】 理解

『限りあるお金を人生で最大限に有効活用するためには、どうすればよいだろうか？』

<学習目標>

- ・生活設計・マネープランゲームを通して、人生における収入と支出の関係に気付き、理解する。

<学習方法>

PPT15_学習目標_限りあるお金を、人生で最大限に活用するには？

展開

②生活設計・マネープランゲーム20歳代

非消費支出について

理解

生活設計・マネープランゲーム20歳代

体験

<学習目的>

- ・中長期にかかる消費イベントを題材に、イベントに関する支出を把握する。
- ・収入とのバランスを考え、資金計画の必要性を学ぶ。

<学習方法>

PPT07_生活設計_収入と支出、家計の管理方法を理解しよう

・非消費者支出について紹介。

ワークシート07_マネープランシートを作成し、生活設計を学ぼう！

・収入、支出（非消費支出、基本生活支出）、貯蓄を考える。

③生活設計・マネープランゲーム30歳代

- ・人生の三大支出
- ・ローンの仕組みとメリット・デメリット
- ・保険の役割

理解

生活設計・マネープランゲーム30歳代

体験

<学習目的>

- ・30代に生じる中長期にかかる消費イベントやアクシデントなどの支出について考える。
- ・三大支出についての理解。

<学習方法>

PPT09_保険とローンを理解しよう～30代以降の生活設計～

・それぞれのテーマについて解説。

④考察

20～30歳代の人生の疑似体験を通して、各自が気付いたことを班で共有

<学習目的>

- ・生活設計の大切さに気付く。

<学習方法>

ワークシート11_学習のまとめ

・マネープランゲームを通して、各自が気付いたことを書き出し、発表する。

⑤まとめ・発表

まとめ・発表

まとめ

2-5. 遠隔（オンライン）授業

阿南光高校

■ 1 時限目 テーマ：情報の収集・比較と意思決定

学習の狙い：自分が主役の生活を送るために、主体的な意思決定の力を磨く

授業内容：●自己傾向を把握

- 主体的な意思決定が妨げられる場面
- 意思決定のプロセス
- 契約前の比較と検討
- 主体的な意思決定

【日時】 令和3年12月21日（火）11:00～11:50

【実施校】 阿南光高校（2年生6クラス）

【担当講師】 坂本先生



有識者会議の座長である坂本先生に授業講師を依頼。

実証対象となる高校の教室と、坂本先生の研究室をオンラインで繋ぎ遠隔授業を実施した。

- アンケート及びヒアリングでいただいた意見については以降実証検証の項目で別途記載している

※当日、阿南光高校にて多発したトラブル事象について、後ほどご報告する

2-5. 遠隔（オンライン）授業

阿南光高校

1 時限目の授業の流れ

導入

①学習目標確認

【課題】 気づき

『自分が主役の生活を送る = 主体的な意思決定の力を磨くには？』

展開

②自己の傾向を把握

「契約のしやすさ得点」を確認しよう 体験

<学習目的>

消費者トラブルに巻き込まれる危険度を得点で表示し、自分の性格・傾向を理解する。

<学習方法>

アプリ01_チェックしよう！「だまされやすさ」の心理傾向
・診断テスト15問程度、Yes Noの2択方式で回答予定
・他人からの影響の受けやすさ・だまされやすさを診断
・得点とタイプを判定し、結果をクラス全員で共有

③意思決定のプロセスを理解する

意思決定のプロセス理解 理解

<学習目的>

影響が長期にわたる決定は、プロセスを踏まえて慎重に行うことが必要と理解する。

<学習方法>

PPT01_意思決定のプロセスを理解しよう
・意思決定のプロセスを解説

④合理的な意思決定が妨げられる場面を知る

合理的な意思決定が妨げられる場面を知る 体験

ターゲティング広告の仕組み 理解

<学習目的>

意思決定において、合理的な判断が妨げられる場面が日常生活にあることを知る。

<学習方法>

PPT02_主体的な意思決定が妨げられる場面を知ろう
・悪質商法の事例とメカニズムを紹介
動画04_インターネット広告の仕組みや注意点とは?
・ターゲティング広告の仕組みを解説

⑤契約前の比較と検討〇〇を選ぼう

契約前の比較と検討 体験 理解

<学習目的>

耐久財・中長期サービスを選ぶ際の、検討項目を考え、比較検討のプロセスを学習する。

<学習方法>

ワークシート01_契約前に必ずしよう！～情報の収集と比較～
・スマートフォンなど高校生の身近なサービスの購入を例に、3サービス程度で比較
・比較検討すべき事項を考える
・検討項目に優先順位をつけ決定をする
・自らに最良の選択を検討し、理由をまとめる

まとめ

2-5. 遠隔（オンライン）授業

阿南光高校

遠隔授業の当日に阿南光高校で発生したトラブルについて

①先生の投影用端末のネットワーク不調

【事象 1】 2年4組、2年5組の回線が不安定で接続がぶつぶつ途切れて授業にならなかつた

【対応】 生徒端末をスリープにしたが改善せず

→ 授業前に接続していたWi-Fiをそのまま利用していたため、

別室に移動したことで電波強度が弱くなったことが原因

→ 一旦Wi-Fiを切断し、電波強度の強いWi-Fiに接続し直したところ安定した

②生徒端末、支援ソフト（MetaMoji）関連

【事象 2】 教材をダウンロードするための「2年生消費者教育」のフォルダがMetaMojiクラスボックス上に表示されなかった

【対応】 同期がされていなかったため、更新ボタンを押すと表示された

【事象 3】 MetaMojiのURLをコピーするための操作を知っている生徒が少なく、方法がわからず苦戦した

【対応】 URLをそのままクリックし、一旦Edgeで開いて、Edge上のURLをコピーして使うよう、現地で個別に説明、または直打ちしてもらった

【事象 4】 端末にMetaMojiが入っていないかった

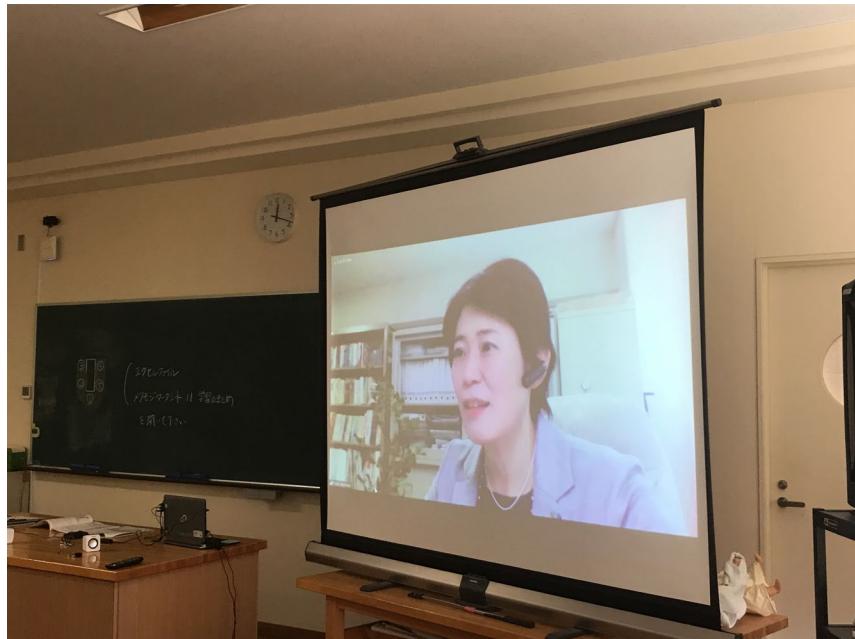
【対応】 投影画面を見ながら他の生徒の端末を見せてもらった

※今回の実証校では、支援ソフトとして「MetaMoji」を利用している。

※他の事象及び改善策を含めた詳細は報告書に記載予定。

2-5. 遠隔（オンライン）授業

城東高校／阿南光高校



高校と遠隔で授業する坂本先生（城東高校）



遠隔で坂本先生が流している動画を見る生徒
(阿南光高校)

2-7. ヘルプデスク サポート対応

サポート対応について

実証研修の実施期間中はヘルプデスクを設置し、メールまたは電話にてサポート対応を実施した。
お問い合わせいただいた内容は以下の通り。

登録日	時間	種類	問合せ元	内容
2021年11月15日	17:30	電話	城東高校	自分のタブレットでwebポータルサイトにログインしてみたところ、TOPページは表示されるがメニューなどが表示されず、教材を確認できない。

⇒ 使用環境を確認したところ、ブラウザはInternet Explorerを使用とのことだったため、Edgeの利用を案内。
その後、Edgeにて問題なくメニューを表示し、教材を確認できたとのこと。

⇒ 対応完了

※実証高校からのヘルプデスクへのお問い合わせは以上1件のみ

各高校関係者の皆様、実証へのご協力ありがとうございました。



分科会 成年向け実証について

3-1. 分科会 成年向け実証について

成年消費者向け研修の実証について、以下4社の企業様にご協力いただき実施した。

企業向け実証研修

業種	本社所在地	社員数	実証研修対象人数	実証期間	事前アンケート	事後アンケート
製造業	大阪府	10万人以上	1,000名程度	2021年12月下旬～2022年1月下旬	-	782名
金融・保険業	東京都	1万人以上 ※内勤従業員数	1,200名程度	2021年12月中旬～2022年1月上旬	-	1,134名
サービス業①	徳島県	100-200名	20名	2021年12月上旬～中旬	21名	19名
サービス業②	徳島県	100-200名	10名程度	2021年12月上旬	11名	10名

調査実証内容

- 企業の社員が、成年向け消費者教育研修ストーリーに沿って、世代別のテーマをeラーニング研修で受講
- 受講者は、若年者層向け／中高年者層向けのうち、自身の世代に合ったeラーニングコースどちらかを選択する。両コースともに全5テーマで構成されているが、各社ごとに研修可能時間等が違うため、全5テーマもしくは任意のテーマを選択し受講

eラーニング 若年者層向け [成績を見る](#)

点数・進捗状況

- ① 電子商取引の契約とは [学習を始める](#) 未学習 (約5分) [講習内容](#)
- ② クレジットカードの特徴と注意点とは? [学習を始める](#) 未学習 (約6分) [講習内容](#)
- ③ デジタルプラットフォームの仕組み、注意点 [学習を始める](#) 未学習 (約4分) [講習内容](#) トラブルに遭った時の対応
- ④ 消費者を保護する制度の内容を知ろう [学習を始める](#) 未学習 (約7分) [講習内容](#)
- ⑤ 消費生活センターの役割と相談の仕方を知ろう [学習を始める](#) 未学習 (約6分) [講習内容](#)

未学習だと「学習をはじめると」が表示されています。学習した結果、満点の場合は「学習済み」になり、満点でなかった場合は「再チャレンジ」が表示されます。

eラーニング 中高年者層向け [成績を見る](#)

点数・進捗状況

- ① 電子商取引の契約とは [学習を始める](#) 未学習 (約5分) [講習内容](#)
- ② クレジットカードの特徴と注意点とは? [学習を始める](#) 未学習 (約6分) [講習内容](#)
- ③ お金の管理(収支予算の算出、多重債務) [学習を始める](#) 未学習 (約3分) [講習内容](#)
- ④ 消費者を保護する制度の内容を知ろう [学習を始める](#) 未学習 (約7分) [講習内容](#)
- ⑤ 消費生活センターの役割と相談の仕方を知ろう [学習を始める](#) 未学習 (約6分) [講習内容](#)

未学習だと「学習をはじめると」が表示されています。学習した結果、満点の場合は「学習済み」になり、満点でなかった場合は「再チャレンジ」が表示されます。

3-1. 分科会 成年向け実証について

ヒアリング

実証研修に参加いただいた各企業の企業担当者、受講者に参加いただき、実証後にヒアリングを実施した。

実施日程、参加人数は以下の通り。

業種	実施日	参加人数
製造業	2022年1月24日（月）10:00～	担当者4名
金融・保険業	2022年1月19日（水）14:00～	担当者3名
サービス業①	2022年1月12日（水）10:00～	担当者2名 受講者4名
サービス業②	2022年1月13日（木）14:00～	担当者2名

一般消費者向け配信

一般消費者向け配信について、徳島県内のケーブルテレビネットワークを介して実施した。

実証配信企業

- 徳島県内ケーブルテレビ事業者1社

実証配信スケジュール

- 情報配信期間：2021年12月1日～2022年1月21日
- アンケート：配信開始時期～配信終了迄

実証配信コンテンツ

- 成年向け動画12本をCATV番組内で配信





実証検証報告

4-1. アンケート

アンケート

- ・アンケートはMicrosoft Formsを用いて実施した。
- ・質問形式は基本ラジオボタン（単一選択）、設問によりチェックボックス（複数選択可）を採用している。
- ・満足度の調査設問の場合は、「あてはまる、ややあてはまる、どちらともいえない、ややあてはまらない、あてはまらない」等、段階的に評価するスケールタイプの形式を用いた。

<高校向けアンケート>

- ・視察授業 事前アンケート（共通）：
2クラス（城東高校1-7、阿南光高校1-4）
- ・遠隔授業 事前アンケート（共通）：
6クラス（阿南光高校2-1～2-6）
- ・通常授業 事前アンケート（共通）：
2クラス（阿南光高校1-5、1-6）
- ・全授業 事後アンケート（時限別）：
1時限目（阿南光高校2-1～2-6）
2時限目（阿南光高校1-4）
3時限目（城東高校1-7）
4時限目（-）※現状回答無し
5時限目（城東高校1-7）

授業後アンケート【高校生1時限目】

この度は、ご協力いただきありがとうございます。
お手数ですが、授業後の感想をお聞かせください。
※所要時間は、約5分です。

ポータルサイト高校向け1時限目：<https://www.shouhi-seikatsu.caa.go.jp/portal/plan1.html>

各教材について

次の質問について、当てはまるものを選択してください。
※授業で使用していない教材についてはご回答いただかなくてかまいません。

1 学習動画(インターネット広告)について
ご回答ください。

インターネット広告の仕組みや注意点とは?


	あてはまる	ややあてはまる	どちらともいえ ない	ややあてはま らない	あてはまらない
面白かった	<input type="radio"/>				
分かりやすかった	<input type="radio"/>				
理解できた	<input type="radio"/>				

4-1. アンケート

アンケート

高校向けアンケートの実施状況について、速報値は以下の通り。（2022/01/31 現在）

(実証前)

高校	視察授業	遠隔授業	通常授業	計
城東高校	26	-	-	26
阿南光高校	22	114	40	176
計	48	114	40	202

(実証後)

高校	1限目	2限目	3限目	4限目	5限目	計
城東高校	-	-	27	-	24	51
阿南光高校	112	17	0	0	0	129
計	112	17	27	0	24	180

※阿南光高校で、引き続きデジタル教材を用いた実証授業（通常授業）を実施中
(2/8 (火) に4限目授業の実施予定有)

4-2. 現地調査レポート

現地調査レポート

各校の視察授業において、有識者が現地に赴いて実証授業を視察・観察し、気付いた点や今後の課題等を「視察・観察シート」にご記入いただいた。

(視察・観察シート 項目)

観点1：デジタル教材を利用する教員の様子について（例：時間配分、説明のしやすさ、etc）

観点2：デジタル教材を利用する生徒の様子について（例：生徒の理解の様子、操作、etc）

観点3：デジタル教材そのものについて（例：表示の大きさ、操作、音声、etc）

観点4：その他、お気付きになった点についてご自由にご記入ください。

【意見一例】

- ・ 最後の確認の時間が足りないため、もう少し時間に余裕が欲しいと思いました
- ・ デジタル教材について内容が多すぎる印象でした
- ・ ツール類が複数あるためおすすめの授業の進め方などを指導案か授業例で紹介する必要があるように思いました
- ・ 背景色が黄緑色で文字がうすい色だと画面が見づらいと思いました
- ・ 全体のテンポが少し速い。生徒のレベルよっては、付いて行くのが難しいのではと思いました

※他、いただいた意見については、別紙「有識者会議意見一覧」に記載

⇒ 検討の上、教材ブラッシュアップの参考意見とさせていただいております。

改修予定の詳細は5章に記載。

4-3. ヒアリング・座談会

ヒアリング・座談会

先生を対象に、実証授業の終了後、ヒアリング・座談会形式でデジタル教材についてアンケートを実施した。
主にユーザビリティの観点で事前に質問内容やテーマを定め、当日対話しながらご回答いただいた。

対象	実施日	参加者
城東高校	2022年1月18日（火）14:00～	山本先生
阿南光高校	2022年1月18日（火）16:00～	西村先生

(共通質問)

- 【教材】これまでの教材と比較し、デジタル教材を使用した事で良かった点はありますか
- 【教材】デジタル教材について、全体的に改善した方が良い点はありますか
- 【教員用指導手引書】良かった点はありますか（例：事例の数、モデル案についてetc.）
- 【教員用指導手引書】改善した方が良い点はありますか（例：事例の数、モデル案についてetc.）

- 生徒の様子はいかがでしたか（例：操作に困っていた、楽しそうだったetc.）
- その他、全体を通してご意見や改善してほしい点があればお聞かせください

(阿南光高校のみの質問)

- 【管理機能】管理機能を使うことで良かった点はありますか（例：受講履歴の確認etc.）
- 【管理機能】改善した方が良い点はありますか（例：ルームの作成、使い勝手、機能の必要性etc.）

※いただいた意見については、別紙「有識者会議意見一覧」に記載

4-3. ヒアリング・座談会

ヒアリング・座談会

実証授業前のヒアリングにて事前に伺っていた「期待する点」、「不安点」、また「課題として挙げられる点」について、実証授業をしてみてどう感じたのか、改めてご意見・ご感想を伺った。

(城東高校 山本先生)

- 事前に課題として挙げられていた「時間が足りない」という点について
- 事前に期待する点として挙げられていた「生徒にとって深い学びが得られるのではないか」という点について
- 事前に不安点として挙げられていた「タブレットの不具合や授業準備に対応できるか」という点について
- 事前に不安点として挙げられていた「紙での資料も準備しておく必要があるのではないか」という点について

(阿南光高校 西村先生)

- 事前に課題として挙げられていた「実際にインターネット等で購入することが少ないため、お金の話をしても実感が沸かない生徒もいる」という点について
- 事前に期待する点として挙げられていた「普段インターネット等で買い物をしない生徒も、買い物体験アプリで疑似体験ができる」という点について
- 事前に不安点として挙げられていた「通信障害等による時間のロス」という点について

※いただいた意見については、別紙「有識者会議意見一覧」に記載

現在、すべての回答を取りまとめ集計を行っており、報告書に整理している。
集計結果については次回有識者会議にてご報告予定。

4-4. 実証検証スケジュール

令和3年

7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
コンテンツ制作期間			実証期間					成果まとめ（評価）	

事務局

- コンテンツ制作**
 - 教員研修準備
 - 授業前支援
 - 問い合わせ対応
- 効果測定設計**
 - 学校管理職へ説明
 - 社内レビュー
 - アンケート項目作成（高校向け）
 - アンケート項目作成（企業向け）
 - アンケート項目作成（一般向け）
- 実証期間**
 - インタビュー用テーマ・項目作成（高校向け）
 - インタビュー用テーマ・項目作成（企業向け）
 - システム検証（ログ集計等）
- 成果まとめ（評価）**
 - アンケート集計
 - インタビュー・座談会意見集計
 - フィードバック

実証高校

- 教育委員会・校長への説明**
- 実証校打ち合わせ**
- 実証授業実施**
 - 授業前アンケート
 - 授業後アンケート
 - 有識者会議委員による、各校授業視察を1回ずつ予定
 - 生徒向けアンケート
 - 先生向けインタビュー、座談会

企業での研修

- 実証企業打ち合せ**
- eラーニング実施**
 - 研修前アンケート
 - 研修後アンケート
 - 受講者向けアンケート
 - 企業研修担当者向けインタビュー、座談会

一般消費者向け配信

- CATVと打ち合わせ**
- CATV配信・ネット配信**
 - 専門家アンケート
- アンケート**

有識者会議・分科会

- 有識者会議・分科会**
 - 実証授業/研修開始の承認
- 実証授業/研修の報告**



コンテンツ制作状況

5-1.教材の改修予定について

■デジタル教材の改修スケジュール

デジタル教材につきまして、実証用に制作した教材に対し、委員・オブザーバーの皆様より多くのご意見を頂戴いたしました。また、実証を通じて実証高校の先生・生徒の皆様から多くのご意見を頂戴いたしました。ご協力いただきまして誠にありがとうございました。これらの意見を基に、下記スケジュールにて教材の改修を行います。改修を終えた教材は実証用Webポータルサイト上に掲載し、3月上旬～3月25日（Webポータルサイト最終公開日）の期間でご確認いただける予定です。

◆制作部分スケジュール抜粋

- ・赤枠部分が高校生向け実証で主に利用したデジタル教材となります

		令和3年 10月	11月	12月	令和4年 1月	2月	3月	4月～
有識者会議			第6回有識者会議			第7回	第8回	
実証事業				実証期間 アンケート・座談会				公表
デジタル教材制作				教材確認・意見 集約期間			最終教材確認期間 ～3/25	
動画		順次リリース			動画修正			
授業用教材		順次リリース			授業用教 材修正	公表準備		
その他デジタルコンテン ツ（アプリ）		実装	順次リリース		アプリ開 発修正			
その他デジタルコンテン ツ（eラーニング）		開発・実装			eラーニ ング修正			
Webポータルサイト		開発	公開	公開期間		停止		

5-1.教材の改修予定について

■委員・オブザーバーの皆様・実証高校の先生・生徒の皆様からいただいたご指摘・ご意見について（内訳）

赤枠部分が今回いただいたご指摘・ご意見の内訳となります。

照会先	教材種別	件数			内容の一例	
		ご指摘	ご意見	計		
有識者会議	PPT	(13本)	5	20	25	■ PPT →スライドやノート部分に詳しく補足説明を入れたほうが良い箇所がある
	ワークシート	(9本)	3	21	24	■ ワークシート →商品比較で生徒に考えさせる場面では、比較内容を1スライドで示し生徒に見せられる形が良い
	アプリ	(5本)	8	16	24	■ アプリ →「今後の10年のライフプランを体験しよう」についてイベント設定を見直したほうが良い・アプリの目的を最初に示したほうが良い・途中でやめる場合の操作方法が分からぬ
	動画	高校生/成年共通 (5本)	9	15	24	■ 動画 →BGMが大きすぎる →全体構成を見直したい（動画01,06-01）
		高校生向け (1本)	0	1	1	■ 指導書 →教材とアプリの使い分けを示してほしい →教材ボリュームが多いため必須教材と補助教材の区分けが欲しい
	その他	Webポータル・指導書等	3	22	25	
	合計		28	95	123	
分科会	eラーニング	若年者層/中高年者層 (2本)	1	29	30	
	動画	成年向け (7本)・eラーニング用動画	2	14	16	
	アプリ	高校生/成年共通 (3本)	1	4	5	
	その他	Webポータル等	1	21	22	
	合計		5	68	73	



全体スケジュール

6. 全体スケジュール

本事業における最新のスケジュールを以下に示します。実証を終え、各種アンケートや視察レポート、ヒアリング・座談会、委員の皆様からいただいた意見等を取りまとめ、最後の教材改修期間へ入ります。取りまとめたご意見・アンケート集計結果については、報告書へ最終の集計結果を記載し、次回有識者会議にてご確認いただけるよう進めてまいります。委員の皆様におかれましては引き続き確認作業へのご協力を賜りたく、何卒よろしくお願ひいたします。

	令和3年 6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	令和4年 1月	2月	3月	4月～
有識者会議		第5回有識者会議			第6回			第7回	第8回		公表
デジタル教材制作								教材確認・意見 集約期間		最終教材確認期間 ～3/25	
動画	要件定義	制作・編集			順次リリース			動画修正			
授業用教材	要件定義	授業用教材作成			順次リリース			修正内容整理・検討	授業用教材修正		公表準備
その他デジタルコンテンツ（アプリ）	要件定義	アプリ開発、検証			順次リリース				アプリ開発修正		
その他デジタルコンテンツ（eラーニング）	要件定義	仮制作	実装						eラーニング修正		
Webポータルサイト	要件定義	開発			公開		公開期間		停止		
実証事業	地域協議会、教育委員会等調整	アンケート設計				ヘルプデスク運営			コンテンツの フィードバック		
高校での試験授業		研修・説明会準備		実証2校との打ち合わせ、教員研修		実証前 アンケート	試験授業実施	実証後 アンケート		実施報告書作成	
成年消費者向けの研修				企業との打ち合わせ、教材説明会		研修前 アンケート	研修実施	研修後 アンケート			
一般消費者向け情報配信				CATV事業者打ち合わせ、 配信支援			配信	アンケート			